

第4期横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会にかかる意見書（集約）【確定版】

施設名： 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ
 応募団体： 社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

委員名	意見（評価できる点等）	質疑	回答
八森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の支援が豊富で地域に溶け込んでいる様子がうかがえる ・単一自治会・町内会に、地域に密着した地域ケア会議の開催 ・地域のネットワークづくりに力を入れている ・避難所としての地域、関連機関との連携づくり 	障がい分野についての取り組み内容の情報が欲しい	今までの取組としては、併設している中部地域療育センターに協力いただき、NPO法人「BLACKSOX」と障がい児向けにバリアフリーテニスを9年行っています。今後の具体的な取組内容は、区障がい児者団体連絡会と連携し、地域の方へ向けて、災害時の障がい理解講座を開催できるように地域の関係者と話を進めています。
加賀美委員	清水ヶ丘一帯を中心とした場所柄、障害者用資材（車椅子）を扱う機会が多いと思いますが、障害者支援団体等との関係も必然的に深くなり、地域ケア会議も活発に行われているようで先々明るいものが見えてきます。期待します。	なし	
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域でサービスの提供が出来る事が各地区での目標になるのではないか。 ・人材育成に取り組んでいること。 ・地域ケア会議の意見が生かされている事は、形だけの会議になっていなく他地区のお手本となるのではないか。 ・色々な場所を利用する事で、顔の見える活動が行われている。 	なし	
川井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の支援やネットワークの構築に「幸福！満腹！声かけ！太田地区」や「できるコトまだまだ」のキャッチフレーズが生かされていることを感じました。 ・運営ビジョン、団体の状況、職員配置及び育成、施設の管理運営、事業について理解しました。 	なし	
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・有資格者の配置が必須である地域包括センターだけでなく、指定管理事業の職員配置が100%を維持されている。 ・連合単位だけでなく、自治会（町内会）単位においても地域ケア会議を開催しておりきめ細やかな地域課題の把握に努められている。 ・第3期南区地域福祉保健計画に沿った事業展開がなされていると思います。 	5事業(3)生活支援体制整備事業 ウ目指すべき地域像の共有と実現に向けた取り組み ・地域資源が見える化した「マインドマップ」作成をおこなったと記載があるが、情報更新などは、どのように行っていますか。	「マインドマップ」については、平成28、29年度に開催した包括レベルの地域ケア会議での議論の過程で、地域の資源や良いところが見える化するために活用したもので、会議参加者から積極的に地域情報を引き出すことができ、地域課題についても整理することができました。このように「マインドマップ」は会議の意見交換のために使っているので、情報更新はしていません。なお、地域ケアプラザにおいては、人的資源や地域での企業活動など、必要に応じて地域の方にご紹介しています。
中根委員	消防団協力事業所でもあるようで、福祉避難所として防災に力を入れている事、また、人「財」という言葉が示すように、職員育成も大事にしている事は評価してよいと思います。 全自治会、町内会で開催されているという地域ケア会議にて、他地域にはない環境を取り上げ、ゆえに悩みや困り事もちがうという気付きから始めている事も評価できるポイントでした。	生活支援体制整備事業「ひよっこり茶屋」の活動について教えてください。	太田東部地区社会福祉協議会と太田東部地区オレンジの会（認知症普及啓発グループ）が主体となり、毎月第一金曜日の13時から15時まで元お好み焼き屋を借りて、誰もが参加できるコミュニティカフェを開催しています。太田東部地区は山坂が多い地区で、会場に来たくても来られない方が多数います。その方々の為に不定期ですが、普段の会場と離れた場所にある病院や葬儀場を借りて開催しています。
高羽委員	<ul style="list-style-type: none"> ・南部は平戸桜木道路が横断する都市部、北部は住宅が多い丘陵地帯。 ・実は災害時のヘリポート。 ・地域ケアプラザの役割であるネットワークづくり（民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、自治会町内会、介護事業所、医療機関、障害者支援、関係団体、老人クラブ）の様々な専門機関を活かしているところ。 ・福祉避難所として防災に力を入れている事。 ・消防団協力という心強い人材育成にしっかりと取り組んでいる事。 	なし	
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所としての連携 ・状況別マニュアルの整備 ・多世代交流支援 	なし	